

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	岱明町ホテルの里維持管理事業		所管課【2】	コミュニティ推進課
			評価者(担当者)	岸田 稔
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分	(1)生涯学習の推進		
	(市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 10 項 5 目 2 細目 17			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	水環境の変化でホテルが生息しにくい環境となっているが、ホテルの保護や自然環境整備により改善が認められる。現在ホテルの里は、地元小学校等の環境教育の場でもあり、訪れる人々に環境保全の大切さと自然の豊かさを再認識させるものとなっている。依然、環境の変化による水量の問題等が課題であるため、玉名市の恵まれた自然環境という財産保護の一環として、ホテルの里事業の役割は大きい。
対象(誰、何に対して) 【9】	施設(ホテルの里)・市民
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	ホテルの保護・育成を通じて、市民の自然環境保全への関心を高めるとともに、活動の輪を広げる。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	ホテルの繁殖活動を通じてホテルの里づくり・環境保全を進め、環境意識の高揚を図っている。 ・給水管やポンプ等の設備の維持管理 ・ホテル観賞会(5月)、産卵用の成虫採集(6月～7月)、幼虫の開田川放流(10月から) ・水質調査、人工飼育、生態に関する研究、除草・清掃・開田川整備
	事務事業を構成する細事業【15】 ① 岱明町ホテルの里維持管理業務 ② 岱明町ホテルの里委託業務 ③ ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金				
		県支出金				
		起債				
		受益者負担				
		その他				
		一般財源	625	694	985	1,281
	【16】 小計	625	694	985	1,281	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
職人件費	職員人工数	0.21	0.21	0.15	0.15	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,610	5,424	5,424	5,424	
	【17】 小計	1,178	1,139	814	814	
合計		1,803	1,833	1,799	2,095	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 岱明町ホタルの里維持管理業務	施設の点検、修理等を行い、適切に管理する。	点検、修理確認回数	回	23	25	20	20
② 岱明町ホタルの里委託業務	ホタルの生育に必要な環境の整備を外部に委託して行う。	環境保全活動日数	日	365	344	350	350
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	H27実績
1 成虫したホタルの割合	幼虫から成虫になったホタルの割合	%	25	25	25	25
			10	15	16	
2 ホタルや環境保全に関心を持つ人数	観賞会・保護活動等に参加した人数	人	2,100	2,100	2,100	2,300
			2,260	2,400	3,030	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	ホタルが飛び交う豊かで美しい自然環境は玉名市の財産であり、その保全は地域・学校・行政が連携して進めていくべき大切な事業である。また、地元小学校の自然環境の学習にも大変役立っていることから、廃止等の影響は大きいことが予測できる。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	環境学習・教育やPRにより環境保全意識が高まり、活動への参加者が増える余地がある。引き続き親水性に配慮した整備が進むことで、ホタルの数も増え、飛翔期間中約2,000人の来訪者がさらに増えることが予想される。
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	ホタルの里を子どもなどの環境学習の拠点として活用することは極めて有効であり、本事業の継続は妥当である。これからも、市が掲げる「環境の先進地、環境立都 玉名」を目指して、自然環境保全の啓発を進めていき、対外PRや保護活動を積極的に進めている。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	適切な維持管理を行い、環境学習の拠点施設として自然環境保全の大切さを発信し、地域ボランティア活動も盛んである。ホタル生育に適した水量確保・保水のための改善策を引き続き検討する。	評価責任者 坂本 政輝
------------------	--	----------------